

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人 七恵会
施設名	中央ながかみ保育園
報告者（役職）	緒方まなみ（園長）
住所・連絡先	静岡県浜松市中区中島二丁目7番8号
	☎ 053-467-6600 E-mail tyuohnagakami27-hoikuen4@dream.jp

○タイトル（保育計画）

子どもを囲んで3世代が集うお庭

○主な助成備品

東屋

1. 保育計画策定の目的

当保育園建物は、1～2階が保育園・3～4階はサービス付き高齢者住宅「ケアガーデン長上苑」となっています。さらに、隣には同法人の介護老人福祉施設が建っており、普段より園児と高齢者の交流を大切にしています。

その二つの建物の間にある園庭を、「子どもを囲んで3世代が集うお庭」をコンセプトに整備することにより、三つの施設を利用する赤ちゃんからお年寄りまでが、日常的に家族のように集うことができる場所づくりをしたいと考えました。園庭を総合的に整備していくことを大きな目標に掲げながら、今回の助成によりシンボルとなる東屋を設置して、子どもの遊びが発展していくことと、子どもと高齢者がくつろいで交流できるようにしていきたいと思います。

2. 具体的な実施内容

保育園と高齢者施設の中庭的に位置する園庭に、木製の東屋ができました。それに合わせたベンチとテーブルもあり、車いすでも中に入ることができる広さです。

東屋は使い方が特定されない遊具なので、ごっこ遊びのお家となって会話をはずませる姿が見られたり、疲れたら一休みしたり、おやつを食べる場所となったり、思い思いに過ごすことができます。その中から、印象的な場面をお伝えします。



何もないお庭でしたが、園児の「すもう大会」を行った時には、高齢者施設からもたくさん応援に来てくれました。



高齢者施設の手前に東屋があります。「ミニ運動会」に園児の祖父母と高齢者施設の方がたくさん応援してくれました。



夏は、日陰になる東屋に子どもたちが集まってきました。気持ちよく過ごせる場所を感じていたようです。



東屋も一つの保育室となり、絵本コーナーが開かれていました。異年齢の子どもたちがいますが、とても落ち着く空間です。



高齢者施設の方が来ると、「じいじ」「ばあば」とすぐに子どもたちが周りを取り囲みおしゃべりが始まります。※東屋の後方が園庭と園舎になります。



「見て！泥団子作ったよ！」と2歳児の子が自慢げに来ると、「よくできたね」と褒められ嬉しそう。

3. その成果と評価

何もなかった園庭に東屋が設置されたことによって、園庭が温かい雰囲気になりました。木製でお家のような形の東屋だから…というだけではなく、子どもたちの様子を見て気づいたことがあります。東屋の中にずっと留まる遊び場というより、一人で、あるいは仲良しの友だちと立ち寄って、腰かけたりお話ししたりして、また別の遊びに向かっていく姿が見られたのです。このことから、子どもたちのエネルギーを回復させる場所になっているのではないかと感じました。

また、「子どもを囲んで3世代が集うお庭」をテーマに園庭整備をしたいという、夢の一步目が東屋という形になって実現されたことで、職員が自分たちの保育園のお庭造りに積極的に意見を出し合うことにつながりました。その中で物的環境以上に、職員の中に「子どもと高齢者が一緒に」という意識が強くなったことが、大きな成果と感じました。

4. 今後の課題と展望

昨年末には、園庭に大型遊具の設置・芝生の丘・水遊び場などの整備工事が完了しましたこともご報告させていただきます。木製の東屋との調和や遊びによる導線を考えて整備したお庭からは、賑やかな声が聞こえます。活発に活動できる環境だけではなく、くつろげる環境も子どもの生活には欠かせませんが、東屋がくつろぎの場としてますます活用されていくと思います。

暖かくなると高齢者の方も外に出る機会が増えてくると思うので、保育園と高齢者施設の職員同士が連携し、お庭の環境を存分に活用して、子どもたちが元気に遊ぶ姿をお年寄りが傍で見守ってくれるという、家族のような交流を日々の暮らしの中で実現できることを目指していきたいと考えます。

第一生命財団より助成を頂いたことで東屋ができ、それをきっかけに園庭整備を進めることができました。最後になりましたが、第一生命財団に心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

以上